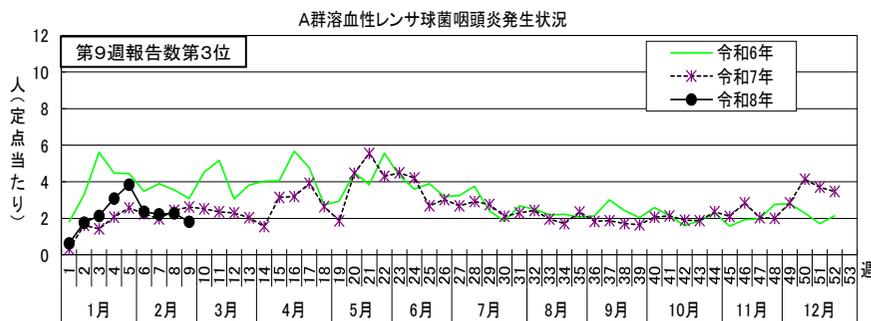
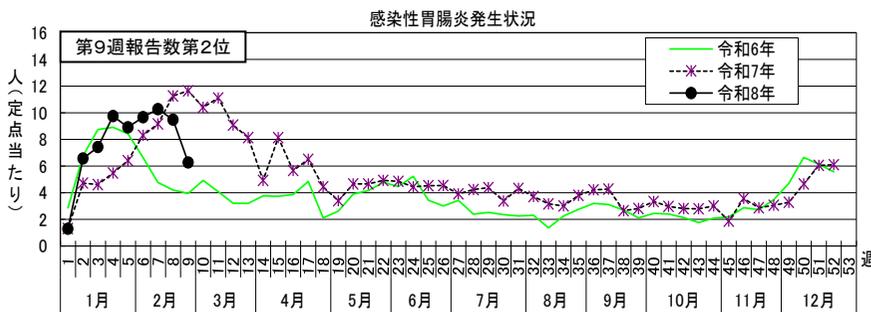
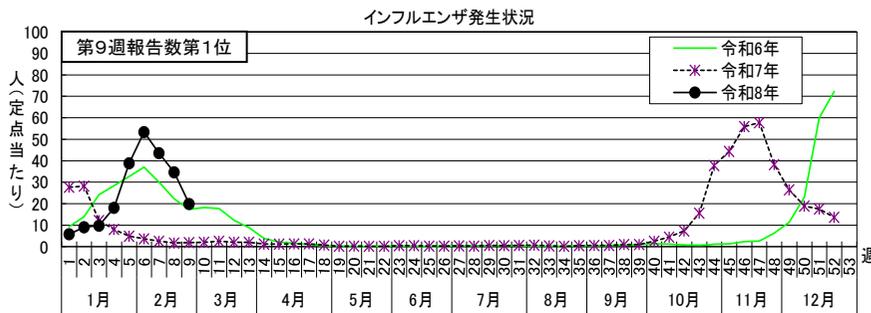


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年2月23日（月）～令和8年3月1日（日）〔令和8年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は19.95人と前週(34.59人)から減少し、例年より高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.27人と前週(9.49人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.81人と前週(2.27人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



## 今、気を付けたい感染症！～麻しん～

麻しんは麻しんウイルスを原因とする感染症で、患者と接触後10～12日程度の潜伏期間を経て発熱や発しん等の症状を呈します。国内では麻しんは排除状態にありますが、令和8年は年始から全国で報告が相次いでいます。1月はインドネシア等の国外で感染したと推定される事例が多くを占めていましたが、2月以降は国内で感染したと推定される報告が増加しており、川崎市においても渡航歴のない患者が既に3件みられています。

麻しんは感染力が非常に強いため、疑わしい症状がみられた場合は、医療機関に事前に電話等で連絡してから指示に従って受診してください。受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関の利用は避けましょう。

**麻しんとは？**

【感染経路】  
 飛沫感染、接触感染、空気感染

【潜伏期間】  
 7日～最長21日間(概ね10日～12日)

【症状】  
 発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血等

【合併症】  
 肺炎、中耳炎、脳炎

【予防方法】  
 麻しん含有ワクチン(MRワクチン等)の接種

